

事業実施者		対象							
事業実施年度	令和	年度	総事業費(千円)		補助対象経費(千円)				
事業概要等									
具体的な事業内容									
<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 									
本事業により想定される効果									
想定される効果の根拠									
対象の現状									
課題									
想定される効果を定量化する指標									
指標		単位	定義	調査等の方法	想定される効果と指標及び想定される効果値の関連性	従前値	基準年度	想定される効果値	想定される効果年度
その他必要な事項									

【国立公園等利用促進事業計画記載要領】（必要に応じ適宜欄の拡大、行の追加をすること。）

- ①「対象」欄には、標準的には〇〇国立公園（〇〇地域）と公園事業名（ラムサール条約湿地や世界自然遺産を対象とする場合はその名称）、設置を行う施設名称（例：〇〇ビジターセンター）等を記載すること。
- ②「具体的な事業内容」欄には、想定される効果を達成するために具体的に何を実施するのかを簡潔に箇条書きで記載すること。
- ③「本事業により想定される効果」欄には、達成すべき本計画の想定される効果について、デジタル展示によりどのような効果を目指すのかを踏まえて、簡潔に記入すること。
なお、効果については、要綱要領の当該事業の目的と合致すること。
- ④「対象の現状」欄には、これまでの取り組みがわかるよう、簡潔に記載すること。
- ⑤「課題」欄には、対象の現状を踏まえ、解決すべき中心的な課題を簡潔に記載すること。
- ⑥「指標」欄には、原則として、数値で表現できるものを記載すること。
- ⑦「定義」欄には、指標の数値等がどのように算出されるのかがわかるように記載すること。
- ⑧「調査等の方法」欄には、指標に係る想定される効果値を把握するための調査等の方法について記載すること。
- ⑨「想定される効果と指標及び想定される効果値の関連性」欄には、指標と想定される効果がどの様に関係しているか、設定した想定される効果値が想定される効果を達成することを如何に反映しているかについて簡潔に記載すること。
- ⑩「従前値」欄には、設定した指標の基準年度における実績値を記載すること。
- ⑪「基準年度」欄には、指標の従前値を算出した基準となる年度を記載すること。
- ⑫「想定される効果値」欄には、設定した指標の想定される効果年度における想定される効果値を記載すること。
- ⑬「想定される効果年度」欄には、指標に係る調査等の実施時期を踏まえて記載すること。
- ⑭「その他必要な事項」欄には、事業終了後の管理方法など、事業計画に関する特筆すべき事項について示すものとする。
- ⑮適宜枠は広げることとし、別図も可とする。

事業実施者				対象				
事業実施年度	令和	年度	総事業費(千円)		補助対象経費(千円)			
事業概要等								
①整備事業の概要								
②整備後の運営体制・提供するサービスの内容等								
具体的な事業内容								
.								
.								
.								
本事業により想定される効果								
想定される効果の根拠								
対象の現状								
課題								
想定される効果を定量化する指標								
指 標	単 位	定 義	調査等の方法	想定される効果と指標及び想定される効果値の関連性	従前値		想定される効果値	
						基準年度		想定される効果年度
その他必要な事項								

【国立公園等核心地利用施設上質化事業計画記載要領】（必要に応じ適宜欄の拡大、行の追加をすること。）

- ①「対象」欄には、標準的には〇〇国立公園（〇〇地域）と公園事業名、設置を行う施設名称（例：〇〇ビジターセンター）等を記載すること。
- ②「具体的な事業内容」欄には、想定される効果を達成するために具体的に何を実施するのかを簡潔に箇条書きで記載すること。
- ③「本事業により想定される効果」欄には、達成すべき本計画の想定される効果について、更新又は改修によりどのような効果を目指すのかを踏まえて、簡潔に記載すること。
なお、効果については、要綱要領の当該事業の目的と合致すること。
- ④「対象の現状」欄には、これまでの取り組みがわかるよう、簡潔に記載すること。
- ⑤「課題」欄には、対象の現状を踏まえ、解決すべき中心的な課題を簡潔に記載すること。
- ⑥「指標」欄には、原則として、数値で表現できるものを記載すること。
- ⑦「定義」欄には、指標の数値等がどのように算出されるのかがわかるように記載すること。
- ⑧「調査等の方法」欄には、指標に係る想定される効果値を把握するための調査等の方法について記載すること。
- ⑨「想定される効果と指標及び想定される効果値の関連性」欄には、指標と想定される効果がどの様に関係しているか、設定した想定される効果値が想定される効果を達成することを如何に反映しているかについて簡潔に記載すること。
- ⑩「従前値」欄には、設定した指標の基準年度における実績値を記載すること。
- ⑪「基準年度」欄には、指標の従前値を算出した基準となる年度を記載すること。
- ⑫「想定される効果値」欄には、設定した指標の想定される効果年度における想定される効果値を記載すること。
- ⑬「想定される効果年度」欄には、指標に係る調査等の実施時期を踏まえて記載すること。
- ⑭「その他必要な事項」欄には、事業終了後の管理方法など、事業計画に関する特筆すべき事項について示すものとする。
- ⑮適宜枠は広げることとし、別図も可とする。

事業実施者		対象	
-------	--	----	--

事業実施年度	令和	年度		総事業費(千円)		補助対象経費(千円)	
--------	----	----	--	----------	--	------------	--

事業概要等							
①整備事業の概要							
②整備後の運営体制・提供するサービスの内容等							

具体的な事業内容							
.							
.							
.							

本事業により想定される効果							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

想定される効果の根拠							
対象の現状							
課題							

想定される効果を定量化する指標								
指標	単位	定義	調査等の方法	想定される効果と指標及び想定される効果値の関連性	従前値		想定される効果値	
						基準年度		想定される効果年度

その他必要な事項							
----------	--	--	--	--	--	--	--

【国立公園等フィールド体験スポット整備促進事業計画記載要領】（必要に応じ適宜欄の拡大、行の追加をすること。）

- ①「対象」欄には、標準的には〇〇国立公園（〇〇地域）と公園事業名、設置を行う施設名称（例：〇〇展望台）等を記載すること。
- ②「具体的な事業内容」欄には、想定される効果を達成するために具体的に何を実施するのかを簡潔に箇条書きで記載すること。
- ③「本事業により想定される効果」欄には、達成すべき本計画の想定される効果について、更新又は改修によりどのような効果を目指すのかを踏まえて、簡潔に記載すること。
なお、効果については、要綱要領の当該事業の目的と合致すること。
- ④「対象の現状」欄には、これまでの取り組みがわかるよう、簡潔に記載すること。
- ⑤「課題」欄には、対象の現状を踏まえ、解決すべき中心的な課題を簡潔に記載すること。
- ⑥「指標」欄には、原則として、数値で表現できるものを記載すること。
- ⑦「定義」欄には、指標の数値等がどのように算出されるのかがわかるように記載すること。
- ⑧「調査等の方法」欄には、指標に係る想定される効果値を把握するための調査等の方法について記載すること。
- ⑨「想定される効果と指標及び想定される効果値の関連性」欄には、指標と想定される効果がどの様に関係しているか、設定した想定される効果値が想定される効果を達成することを如何に反映しているかについて簡潔に記載すること。
- ⑩「従前値」欄には、設定した指標の基準年度における実績値を記載すること。
- ⑪「基準年度」欄には、指標の従前値を算出した基準となる年度を記載すること。
- ⑫「想定される効果値」欄には、設定した指標の想定される効果年度における想定される効果値を記載すること。
- ⑬「想定される効果年度」欄には、指標に係る調査等の実施時期を踏まえて記載すること。
- ⑭「その他必要な事項」欄には、事業終了後の管理方法など、事業計画に関する特筆すべき事項について示すものとする。
- ⑮適宜枠は広げることとし、別図も可とする。